

令和4年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

令和4年度における活動内容記入願います。

氏名	月岡 壮太	活動年数	1 年
活動目標	<p>1. ワイン生産技術・知識習得                  2. 地元産ワインおよびワイン産業振興のためのビジネスモデル検討                  3. 各種研修・セミナーへの参加</p>		
活動内容	<p>■ワイン生産技術・知識習得                  →なんら前知識も技術もなく0からのスタートだったが、幸運にも生産現場で研修させて頂くことが出来、ワイン用ブドウ栽培・醸造の流れおよびワイナリーの1年間の動きを大まかに把握することが出来た。また、冬季には道外生産地での研修&amp;実地調査。昨年、研修スタートが6月だったため春先の農作業を体験しておらず、今年は春先より学ばせて頂いている。今年はより深く学びを進めたい。</p> <p>■地元産ワインおよびワイン振興のためのビジネスモデル検討                  →昨年は何だかんだコロナ禍の影響を受けざるを得なかったと言えるが、大きく「飲食」「食品加工」「イベント企画制作」を立案し、そのための現実的な規模や手段をイメージすることが出来た。己がイメージするビジネスモデルを構築するには現状のインフラや制度などでは難しいことも想定されるが、根気強く進めていきたい。                  飲食：「やきとり月ちゃん」地元イベント出店複数回および飲食店研修等                  食品加工：地元食材&amp;ニーズ調査・製造工場用物件調査・OEMシステムの検討等                  イベント：地元&amp;道外飲食店イベント開催、エンタメコンテンツ企画制作、仁木町イベントのニーズ調査等</p> <p>■各種研修・セミナーへの参加                  →仁木余市、しりべし、道ワインセミナー等、実地・オンラインともに積極的に参加できた。これらの研修環境はありがたい。生産現場での研修と併せ、知識と実践を両輪で回しているのは効果的。ひよんな流れでJ.S.A.ワイン検定を受講したが、検定という側面はさておき、一般向けのコンテンツとしてよくまとまっていると感じた。なんでもそうだが、ほんの少し知るだけで世界が変わるし、変えられる。</p>		
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況                  活動成果に対する評価基準が分からないので何とも言えないが、コロナ禍の影響の割にはやれるだけやったかと感じております。今年度の活動に繋げることもできているはず。昨年着任してビジネス活動&amp;準備に取り掛かるイメージだったが、制度上それができないとのことで正直面喰ってしまったが、割り切って前向きに活動できたと思う。1年がもっと長ければと思わされる充実した1年。                  強いて言えば、まだ仁木町で音楽を鳴らせていない。</p>		

	<p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>同期隊員がおらず、隊員同士の顔合わせもなく、産業振興員という役職も初とのことで、正直どう始めてよいかわからず始まった1年だったが、気がつけば、仁木町はじめ多くの皆様のおかげで充実した仁木ライフを送らせて頂いております。これまで人生とこの1年が十分つながることも確認できたので、個人的には及第点。</p> <p>強いて言えば、まだ仁木町で音楽を鳴らせていない。</p>
抱負	<p>ワインぶどう生産に関しては長期的に構える必要があるし、かといって短期的な収益モデルも必要だし、目指すライフスタイルとの兼ね合いもあったりするが、己の生活・ビジネスのみに盲目的にならないように産業振興に務めたい。</p> <p>ひとまず今年度は、何かしらの仁木町産品を開発できたらと思案中。なにかイベントもやりたい。</p> <p>やりたいことは山ほどあるが、短期的にやれることも形にしなければと要具体思案。</p> <p>とはいえ、楽しくなければ意味がない。</p> <p>強いて言えば、まだ仁木町で音楽を鳴らしたい。</p>
その他	<p>食品衛生責任者取得、J.S.A.ワイン検定</p>

人生初収穫と醸造、収穫イベント



活動写真



仁木町イベント出店



県外での仁木町産ワインテイスティングイベント

